

『市の人口、産業等』について

1 人口

- 1-1 人口の推移
- 1-2 3区分人口の推移
- 1-3 人口動態の推移

2 事業所

- 2-1 事業所数の推移
- 2-2 従業者規模別事業所数及び従業者数

3 製造業

- 3-1 製造業の推移
- 3-2 事業所数、従業者数、製造品出荷額等の増減率

4 商業

- 4-1 商業の推移（事業所数）
- 4-2 商業の推移（従業者数）
- 4-3 商業の推移（年間商品販売額）

5 港湾利用状況の推移

6 観光

- 6-1 観光入込客数の推移
- 6-2 外国人宿泊客数の推移

7 水産業

- 7-1 水産業の推移
- 7-2 魚種別漁獲高の増減率

8 有効求人倍率

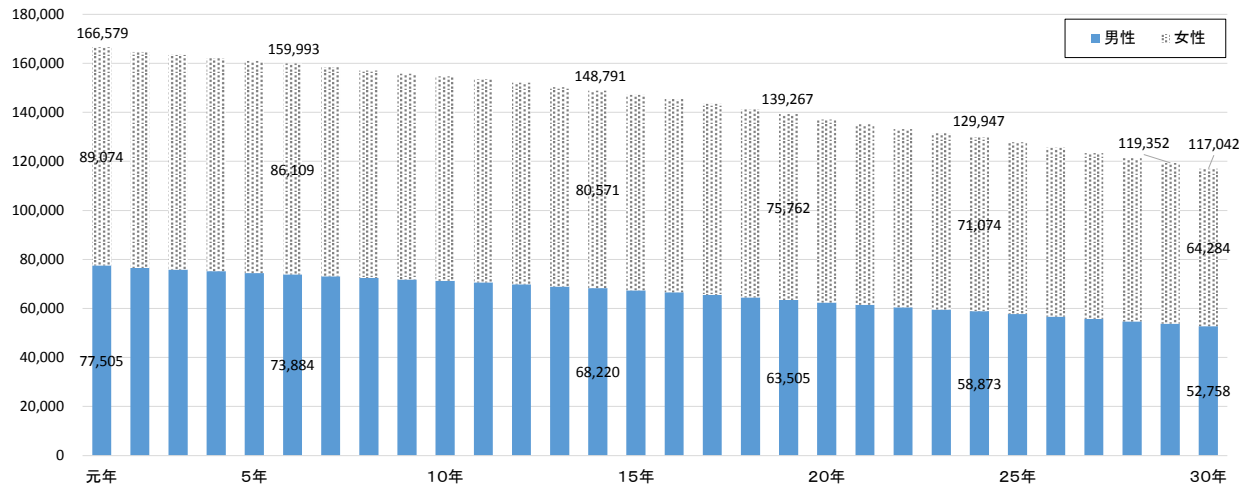
9 小樽市経済動向調査DI値

1-1 人口の推移（平成元年～30年）

※各年9月末現在

30年間で約5万人の減（男女とも約2.5万人の減）
人口のピークは、昭和39年・20万7093人

単位：人



(資料) 総務部企画政策室統計グループ「統計で見るわが街おたる」
生活環境部戸籍住民課「人口統計」

1-2 3区分人口の推移（平成元年～30年）

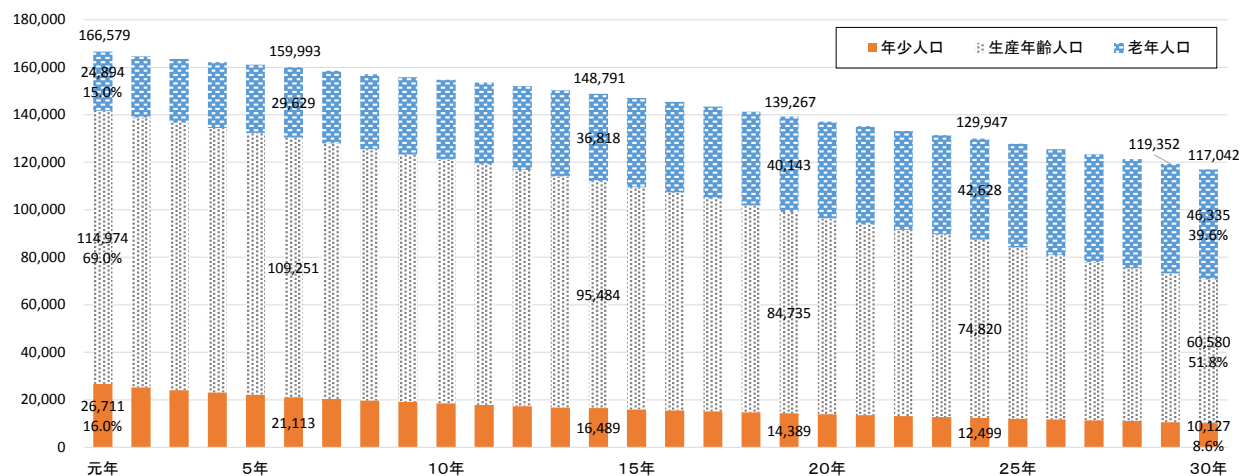
※3区分：年少人口、生産年齢人口、老年人口

※各年9月末現在

平成30年の老年人口割合は約40%

30年間で生産年齢人口+年少人口の合計が約半減、生産年齢人口の割合が17.2ポイント減

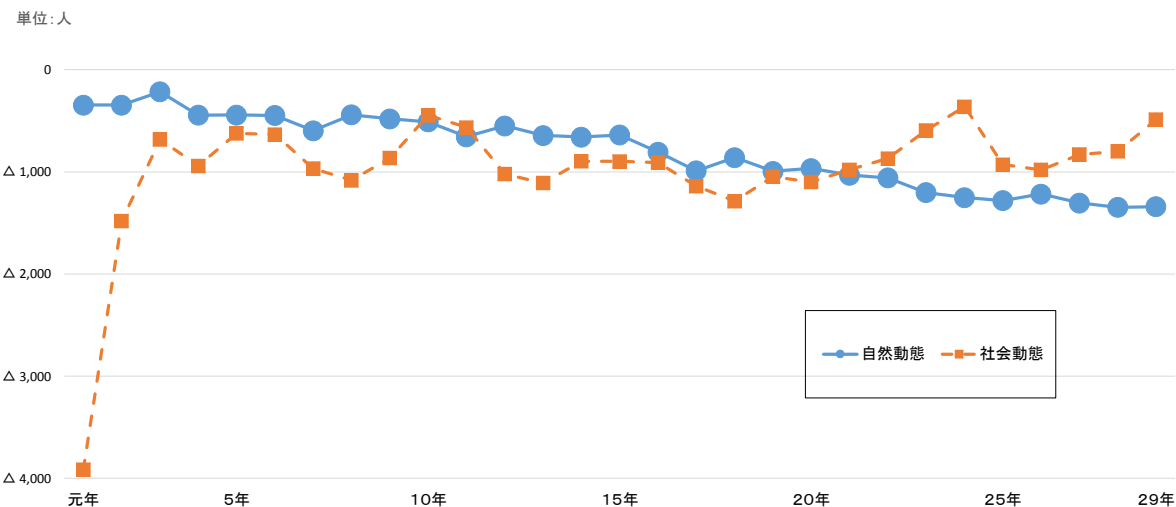
単位：人



(資料) 総務部企画政策室統計グループ「統計で見るわが街おたる」
生活環境部戸籍住民課「人口統計」

1-3 人口動態の推移（平成元年～29年）

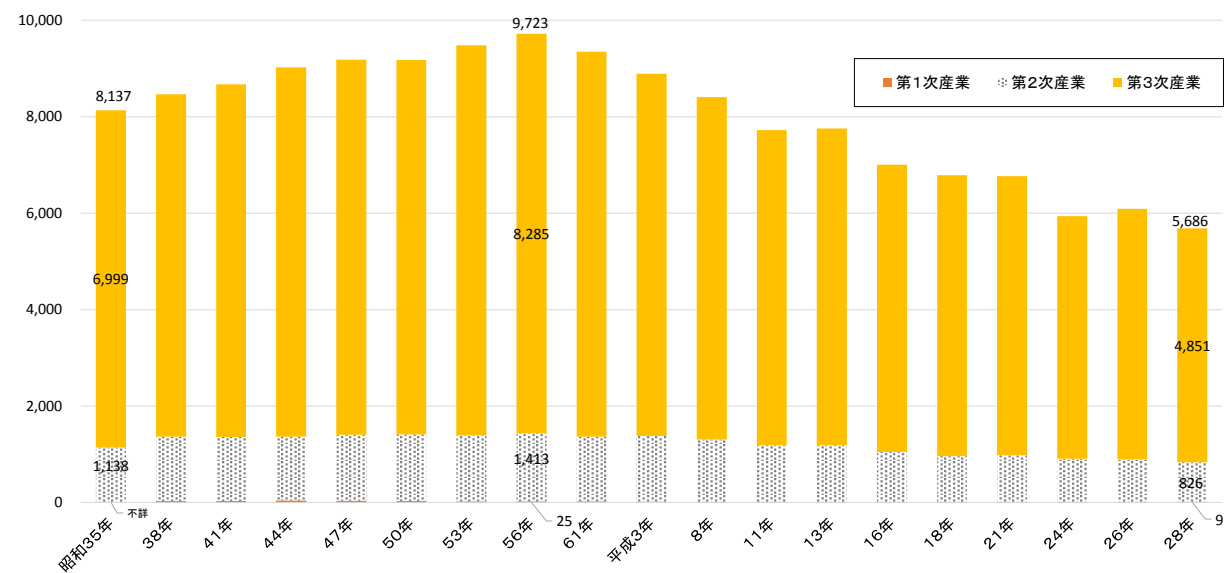
自然動態のマイナス幅は緩やかに拡大
 社会動態のマイナス幅は縮小傾向



(資料) 総務部企画政策室統計グループ「統計で見るわが街おたる」

2-1 事業所数の推移（昭和35年～平成28年）

昭和56年の9,723事業所をピークに減少
 平成28年はピーク時から約4割減少し、5,686事業所



(資料) 総務部企画政策室統計グループ「統計で見るわが街おたる」

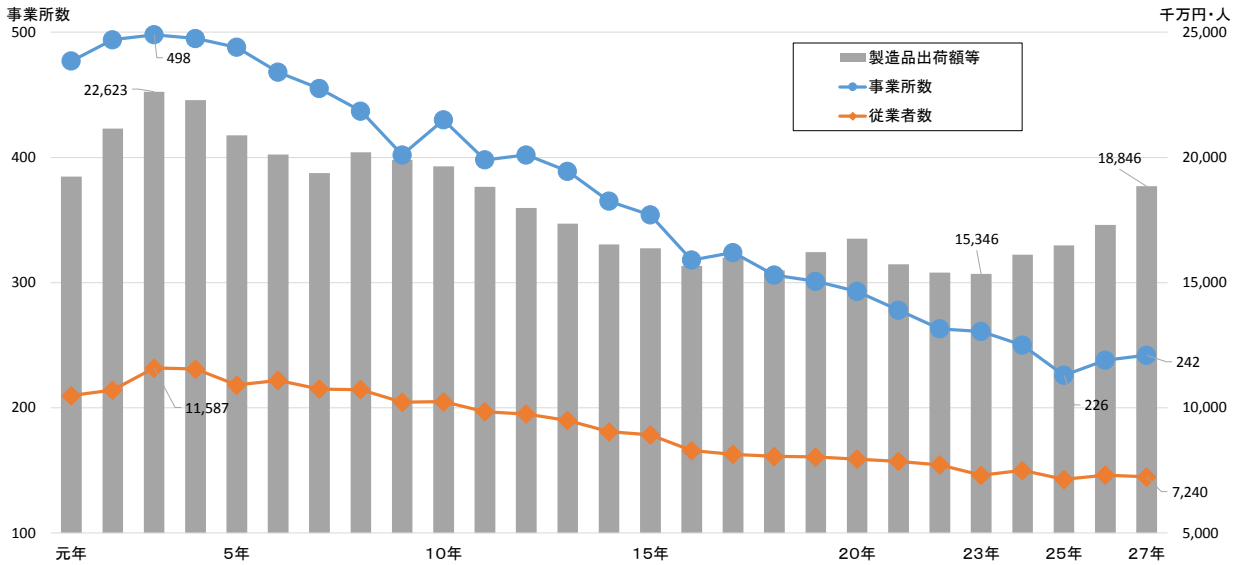
2-2 従業者規模別事業所数及び従業者数(産業分類/大分類/平成26年)

産業 (大分類)	総数		1～4人		5～9人		10～29人		30～49人		50～99人		100～299人		300人以上		出向・派遣従業者のみ	
	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数
総数	6,090	56,650	3,744	7,963	1,110	7,245	873	14,059	166	6,178	121	8,114	44	7,157	12	5,934	20	-
第1次産業	9	119	1	3	2	14	6	102	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
農林漁業	9	119	1	3	2	14	6	102	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
第2次産業	884	10,937	421	998	208	1,385	162	2,688	43	1,583	36	2,359	10	1,483	1	441	3	-
鉱業、採石業、砂利採取業	1	4	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
建設業	422	2,658	245	577	106	692	58	901	9	329	3	159	-	-	-	-	1	-
製造業	461	8,275	175	417	102	693	104	1,787	34	1,254	33	2,200	10	1,483	1	441	2	-
第3次産業	5,197	45,594	3,322	6,962	900	5,846	705	11,269	123	4,595	85	5,755	34	5,674	11	5,493	17	-
電気・ガス・熱供給・水道業	12	267	1	2	3	19	4	59	3	119	1	68	-	-	-	-	-	-
情報通信業	26	121	20	42	3	19	3	60	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
運輸業、郵便業	217	3,321	86	150	39	277	56	931	18	687	13	946	2	330	-	-	3	-
卸売業、小売業	1,786	12,988	1,157	2,666	360	2,318	223	3,406	20	763	12	831	8	1,297	1	1,707	5	-
金融業、保険業	99	918	49	124	24	164	18	267	6	230	2	133	-	-	-	-	-	-
不動産業、物品賃貸業	208	802	164	319	30	176	10	165	2	65	1	77	-	-	-	-	1	-
学術研究、専門・技術サービス業	143	989	95	205	31	194	14	242	-	-	2	146	1	202	-	-	-	-
宿泊業、飲食サービス業	939	5,301	659	1,333	153	997	97	1,554	19	700	6	357	3	360	-	-	2	-
生活関連サービス業、娯楽業	557	2,381	476	830	50	341	16	245	9	325	3	153	3	487	-	-	-	-
教育、学習支援業	202	3,161	96	158	20	140	58	1,058	13	450	9	604	3	441	1	310	2	-
医療、福祉	535	9,878	192	421	126	823	154	2,397	22	834	24	1,646	11	1,962	5	1,795	1	-
複合サービス事業	38	548	23	75	12	73	1	10	1	38	-	-	-	-	1	352	-	-
サービス業(他に分類されないもの)	390	3,101	285	589	47	293	37	624	7	283	8	543	2	398	1	371	3	-
公務	45	1,818	19	48	2	12	14	251	3	101	4	251	1	197	2	958	-	-

(参照) 小樽市統計書

3-1 製造業の推移（平成元年～27年）

製造品出荷額等は平成23年以降 1,534億円から1,884億円に22.8%増



(資料) 総務部企画政策室統計グループ「統計で見るわが街おたる」

3-2 事業所数、従業者数、製造品出荷額等の増減率（製造業/平成23年-平成27年）

産業分類(中分類) 単位:人・万円	平成23年			平成27年			増減率(%)		
	事業所数	従業者数	製造品 出荷額等	事業所数	従業者数	製造品 出荷額等	事業所数	従業者数	製造品 出荷額等
総数	261	7,309	15,345,927	242	7,240	18,845,514	△ 7.3	△ 0.9	22.8
食品製造業	106	3,783	7,422,133	104	3,944	9,416,258	△ 1.9	4.3	26.9
飲料・たばこ・飼料製造業	9	247	1,451,556	7	153	2,427,372	△ 22.2	△ 38.1	67.2
繊維工業	14	358	248,782	17	337	343,631	21.4	△ 5.9	38.1
木材・木製品製造業(家具を除く)	8	193	268,004	6	172	332,109	△ 25.0	△ 10.9	23.9
家具・装備品製造業	11	149	168,410	10	120	144,119	△ 9.1	△ 19.5	△ 14.4
パルプ・紙・紙加工品製造業	8	293	999,023	9	315	1,085,187	12.5	7.5	8.6
印刷・同関連業	7	44	30,849	5	40	37,070	△ 28.6	△ 9.1	20.2
化学工業	2	87	x	3	106	591,384	50.0	21.8	x
石油製品・石炭製品製造業	1	22	x	1	22	x	0.0	0.0	x
プラスチック製品製造業	17	545	1,226,887	17	685	1,724,996	0.0	25.7	40.6
ゴム製品製造業	4	188	271,143	4	180	219,270	0.0	△ 4.3	△ 19.1
なめし革・同製品・毛皮製造業	-	-	-	-	-	-	-	-	-
窯業・土石製品製造業	10	94	296,743	13	114	538,840	30.0	21.3	81.6
鉄鋼業	6	189	687,950	3	56	94,053	△ 50.0	△ 70.4	△ 86.3
機械・金属製造業(※)	52	1,070	1,850,799	41	980	1,704,146	△ 21.2	△ 8.4	△ 7.9
その他の製造業	6	47	53,689	2	16	x	△ 66.7	△ 66.0	x

※機械・金属製造業：非鉄金属製造業、金属製品製造業、はん用機械器具製造業、生産用機械器具製造業、業務用機械器具製造業、電子部品・デバイス・電子回路製造業
・電気機械器具製造業、情報通信機械器具製造業、輸送用機械器具製造業

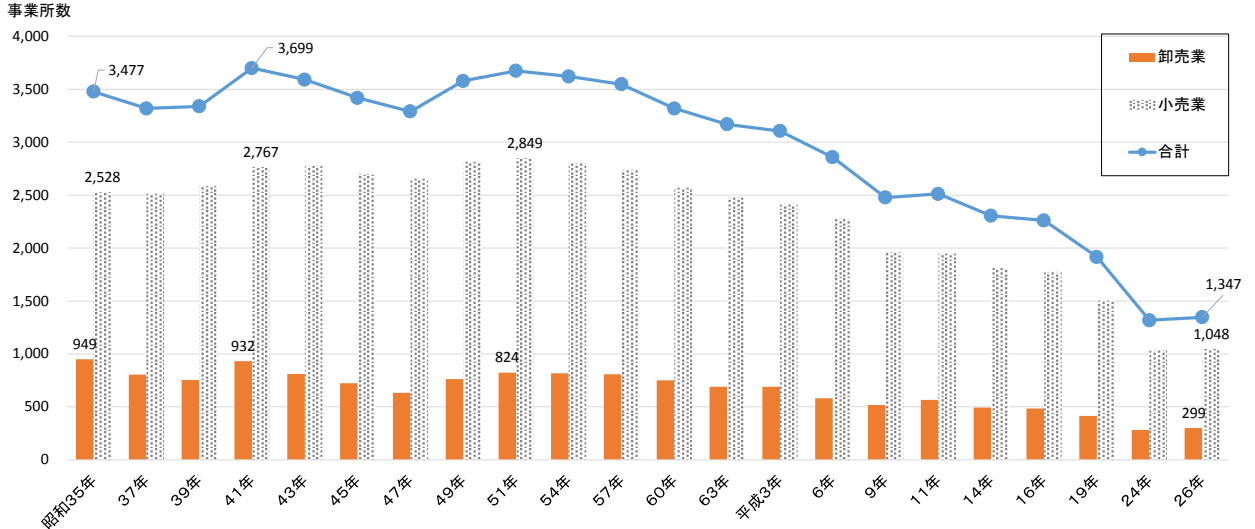
(参照) 小樽市統計書

4-1 商業の推移（事業所数）（昭和35年～平成26年）

卸売・小売ともに減少傾向

平成26年の卸売は、昭和35年から68.5%減の299事業所

平成26年の小売は、ピーク時（昭和51年）から63.2%減の1,048事業所

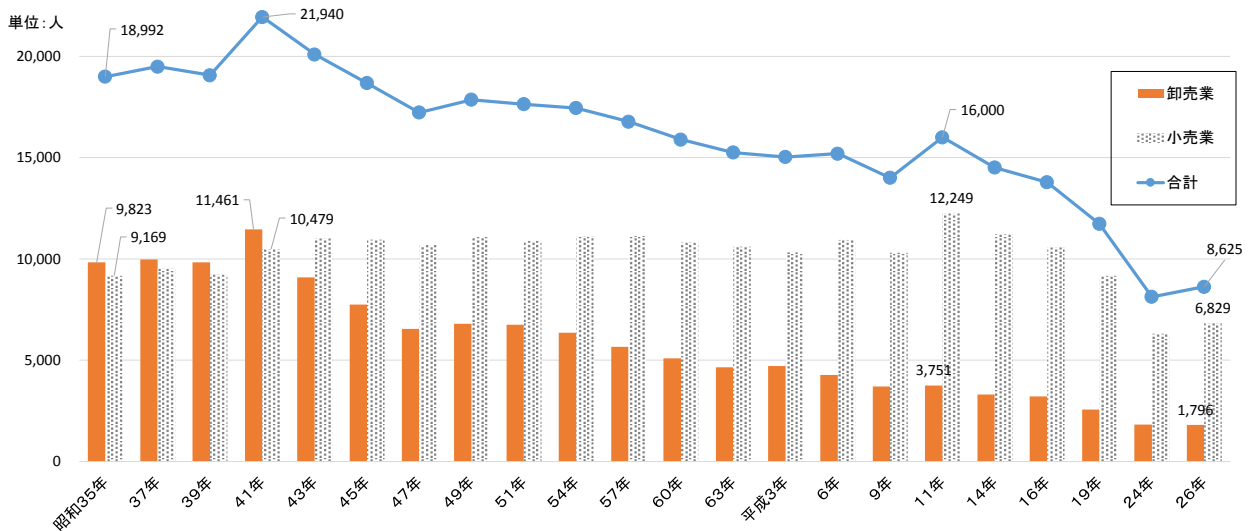


(資料) 総務部企画政策室統計グループ「統計で見るわが街おたる」

4-2 商業の推移（従業者数）（昭和35年～平成26年）

昭和41年を境に卸と小売の従業者数が逆転

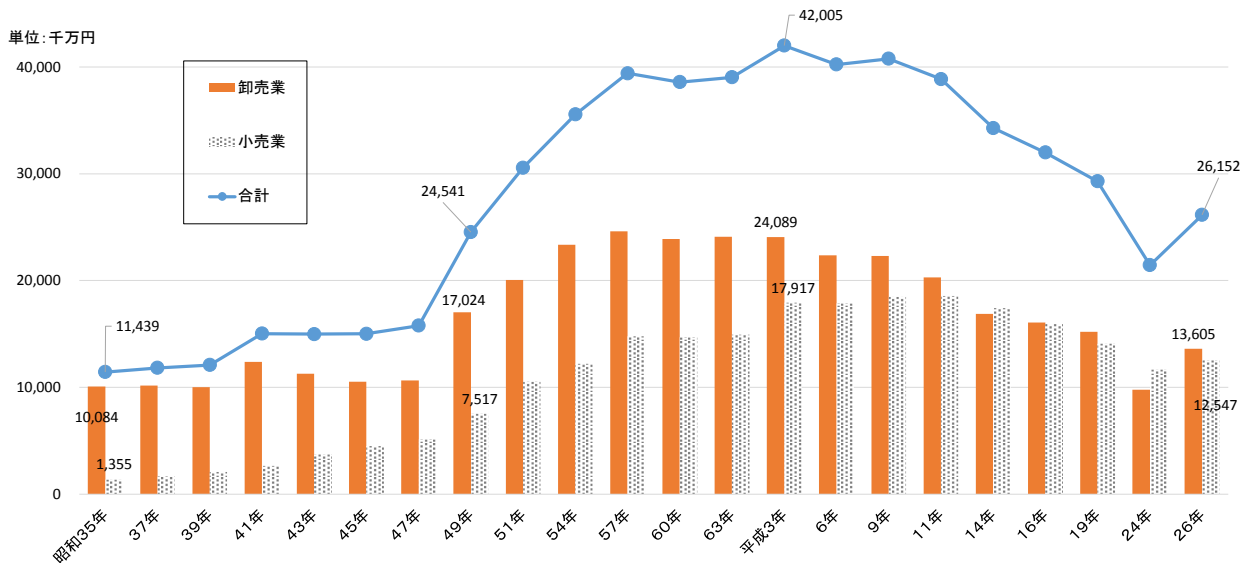
小売は平成11年以降減少傾向



(資料) 総務部企画政策室統計グループ「統計で見るわが街おたる」

4-3 商業の推移（年間商品販売額）（昭和35年～平成26年）

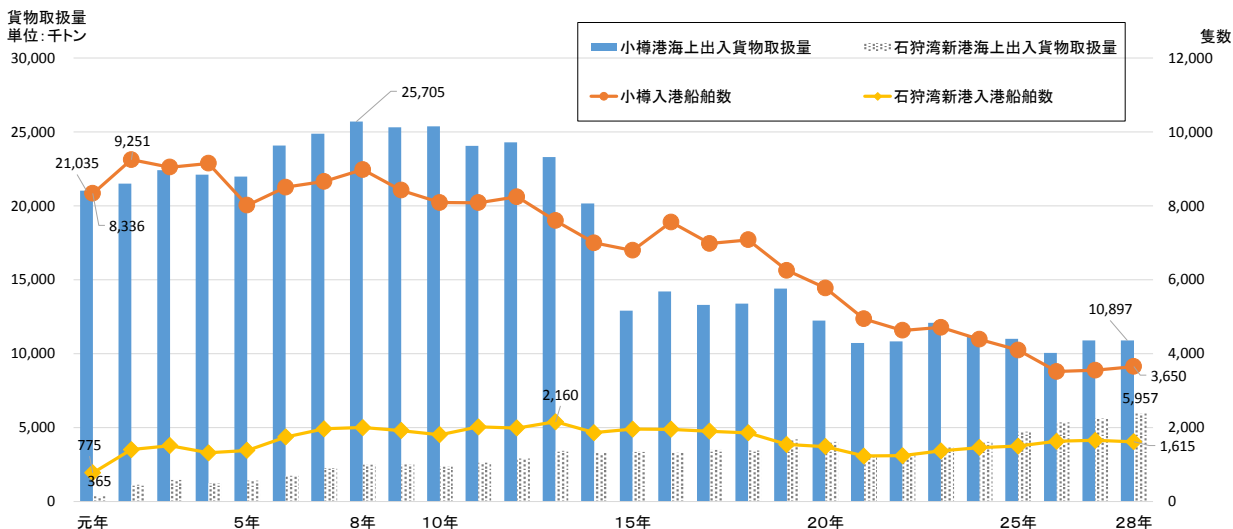
札幌オリンピックが開催された昭和47年以降、商品販売額が増加
卸売と小売の合計では、バブル末期の平成3年をピークに減少



(資料) 総務部企画政策室統計グループ「統計で見るわが街おたる」

5 港湾利用状況の推移（平成元年～28年）

小樽港の貨物取扱量は平成8年以降 2,570万トンから1,089万トンに57.6%減少

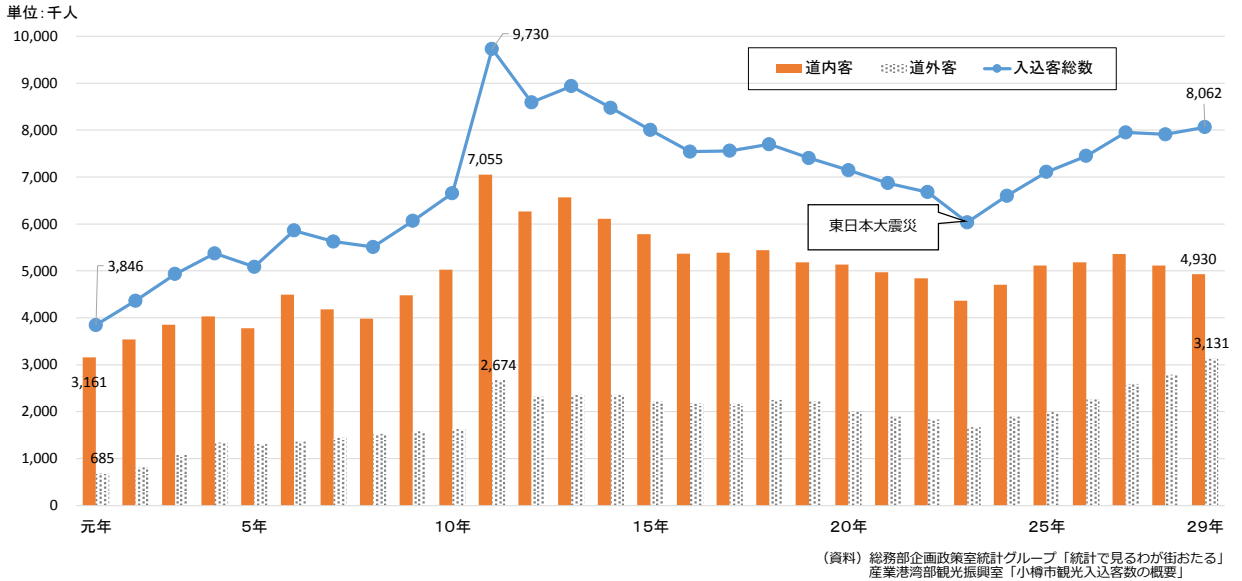


※貨物取扱量：輸出入と移出入の合計

(資料) 総務部企画政策室統計グループ「統計で見るわが街おたる」

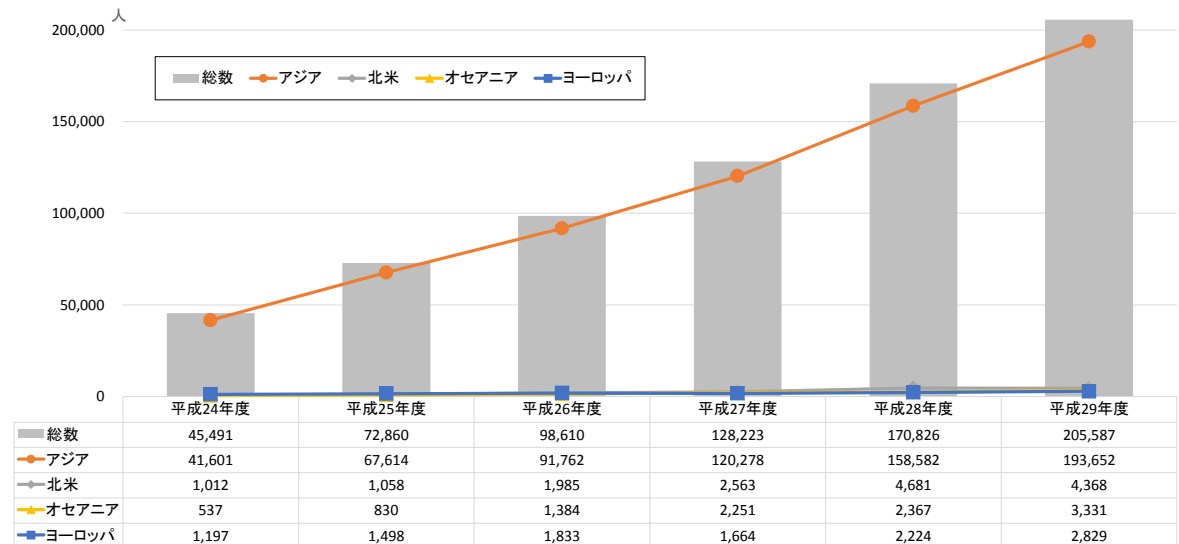
6-1 観光入込客数の推移（平成元年～29年）

マイカル小樽（現：ウイングベイ小樽）がオープン及び第1回小樽雪あかりの路が開催された平成11年をピークに減少傾向であったが、平成23年以降、道外客とともに増加傾向



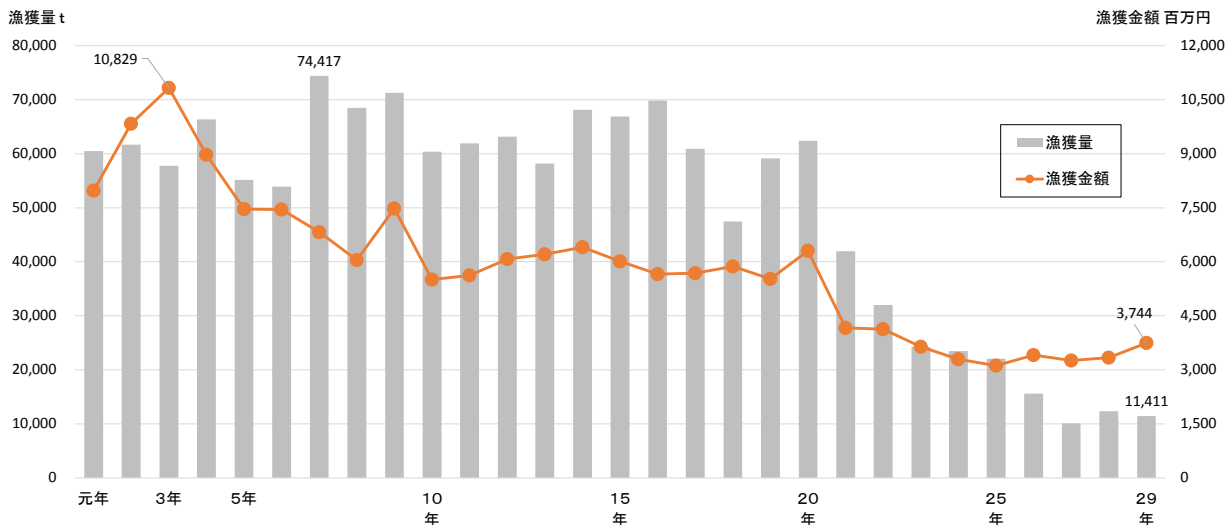
6-2 外国人宿泊客数の推移（平成24年～29年）

アジアからの宿泊客が総数を押し上げている



7-1 水産業の推移（平成元年～29年）

漁獲金額はバブル崩壊と同時に下落
 漁獲量は平成20年を境に大きく減少



(資料) 総務部企画政策室統計グループ「統計で見るわが街おたる」

7-2 魚種別漁獲高

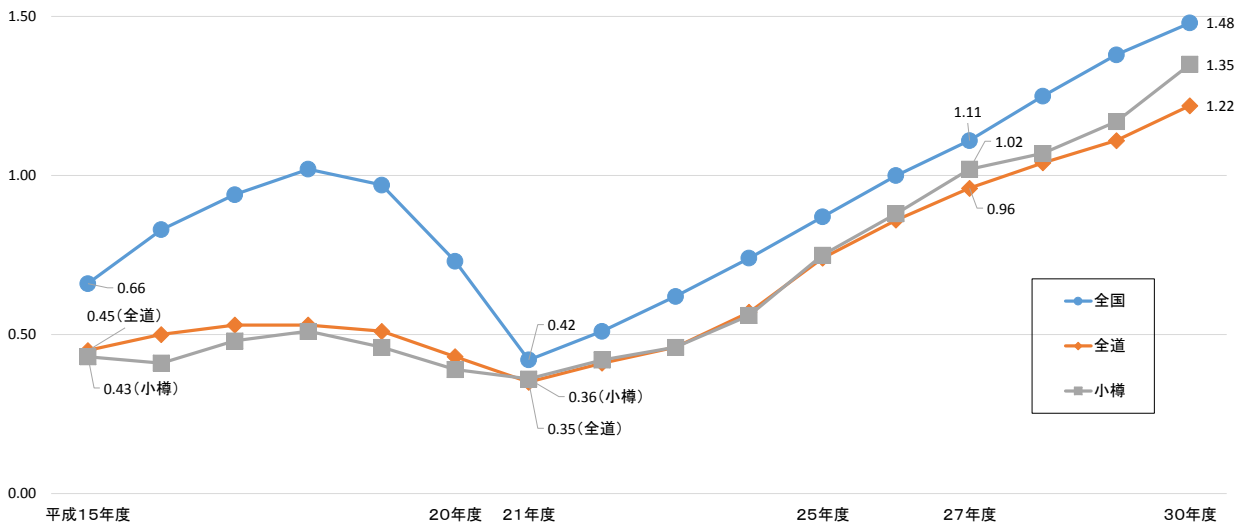
魚種別 (単位 t、千円)	平成 20 年		平成 29 年		増減率 (%)	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額
総数	62,403	6,305,465	11,411	3,744,441	△ 81.7	△ 40.6
魚類計	57,835	4,326,298	6,948	1,347,479	△ 88.0	△ 68.9
にしん	255	145,054	241	88,841	△ 5.5	△ 38.8
たら	727	297,600	637	208,577	△ 12.4	△ 29.9
すけとうだら	6,093	566,291	1,685	139,472	△ 72.3	△ 75.4
ほっけ	48,132	2,331,238	624	136,149	△ 98.7	△ 94.2
かれい	1,673	597,009	3,068	429,154	83.4	△ 28.1
その他の魚類	955	389,106	693	345,286	△ 27.4	△ 11.3
水産動物計	3,199	1,568,157	1,676	1,224,352	△ 47.6	△ 21.9
いか	1,031	291,858	511	310,484	△ 50.4	6.4
たこ	461	205,907	402	168,313	△ 12.8	△ 18.3
しゃこ	72	106,369	87	194,956	20.8	83.3
かに	1,333	298,597	628	146,842	△ 52.9	△ 50.8
うに	124	326,128	17	288,436	△ 86.3	△ 11.6
その他の水産動物	178	339,298	31	115,321	△ 82.6	△ 66.0
貝類計	1,349	401,663	2,771	1,163,139	105.4	189.6
あわび	8	42,706	2	10,764	△ 75.0	△ 74.8
ほっき	56	20,737	30	18,454	△ 46.4	△ 11.0
ほたて成貝	41	14,345	247	98,402	502.4	586.0
ほたて稚貝	1,239	322,870	2,492	1,035,085	101.1	220.6
その他の貝類	5	1,005	0	434	△ 100.0	△ 56.8
海藻類計	20	9347	16	9,471	△ 20.0	1.3

(参照) 小樽市統計書

8 有効求人倍率（平成15年度～30年度）

※平成30年度は9月の倍率

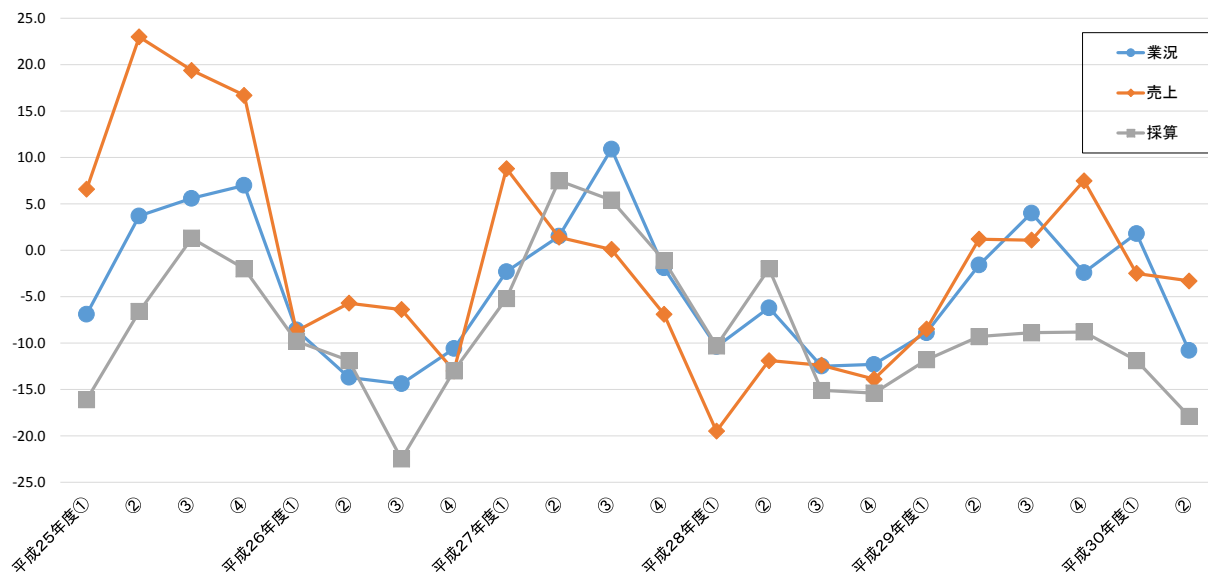
平成20年のリーマンショック後、平成21年度を境に上昇が続く
小樽市では、平成27年度から求人倍率が1.00超となる



(資料) 小樽公共職業安定所「雇用失業情勢」

9 小樽市経済動向調査D I値（全業種）

平成30年度第2四半期は、6月～8月の天候不順及び9月の北海道胆振東部地震などの影響により業況のマイナス幅が拡大



(資料) 小樽商工会議所「小樽市経済動向調査」